

会 議 録 (1)

会 議 の 名 称	令和2年度 第2回入間市公民館運営審議会
開 催 日 時	令和3年3月18日(木) 午前10時開会 午前11時20分閉会
開 催 場 所	中央公民館 3階 3号室
議 長 氏 名	徳永美代子
出席委員(者)氏名	栗原朋子 徳永美代子 西澤裕子 中西一敏 伊與田麻利 塚原とみ子 鎌田実幸 中込勝英 野崎照枝 木下英次 小山輝久 木村木 開坂武 北田尚美 西澤泰男教育長
欠席委員(者)氏名	今泉大二郎
説明者の職氏名	中央公民館長 宮岡弘、主幹 橋本賢司、副主幹 忍足日出男
会 議 次 第 (公開・非公開の別)	1 開会 2 議事 (1) 報告事項 3 その他 4 閉会
非 公 開 理 由	
傍 聴 者 数	
配 布 資 料	1 第2期公民館基本計画策定スケジュール 2 令和2年度入間市公民館基本計画に基づく点検評価(中間報告)
事務局職員職氏名	教育部長 新見輝明、次長 片寄貴之、中央公民館長 宮岡弘 主幹 橋本賢司、副主幹 忍足日出男、副主幹 那須育子
会議録作成方法	要点筆記

会 議 録 (2)

議 事 の 概 要 (経 過) ・ 決 定 事 項

○概要

下記の点について、事務局より説明を行う。委員より内容について確認等のある場合は、質疑応答を行う。

今回審議において特に議決すべき案件はなく、委員及び事務局との間の質疑応答と各委員の意見提出のみが行なわれた。

(詳細については、会議録(3)による)

(1) 報告事項

- ア 第2期公民館基本計画策定スケジュールについて
- イ 公民館点検評価(中間報告)について
- ウ 公民館運営審議会の委員任期2年間の活動の振り返りについて

会 議 録 (3)

発 言 者	発 言 内 容
徳永議長	<p>※委員発言が行われた部分のみ記述する</p> <p>本日の出席委員は14名です。欠席は今泉委員です。会議は成立いたします。よろしく願いいたします。次に、本日の会議録の署名をいただく委員を指名させていただきます。今回は、北田委員をお願いいたします。</p> <p>それでは、議事に入ります。第2期公民館基本計画策定スケジュールについて、事務局より説明をお願いします。</p>
事務局	<p>(「第2期公民館基本計画策定スケジュールについて」説明)</p>
徳永議長	<p>ただいまの説明について、ご意見ご質問がありましたらお願いします。</p> <p>次に「公民館点検評価(中間報告)について」事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>(「公民館点検評価(中間報告)について」説明)</p>
徳永議長	<p>ただ今の説明について、ご意見、ご質問等ありますか。</p>
小山委員	<p>令和4年度からの地区センター化にあたり、公民館活動は引き続き支援していただけると聞いていますが、東藤沢公民館は手狭で部屋の稼働率が高く予約が思うようにとれない状況なので危惧しています。センター化により機能が増えても、公民館活動への部屋の貸出は優先してもらえるのでしょうか。どの部屋をどう使うのか等の具体的な計画を、わかる範囲で教えていただきたいと思えます。</p>
事務局	<p>市では、令和4年度から公民館を地区センターの名称に変更し、所管は現在の教育委員会から市長部局に移管する方針で調整を進めています。ただし、公民館機能についてはそのまま残す方針ですので、皆様の公民館活動につきましては、これまでと変わらずにご活動いただけます。</p> <p>各公民館の部屋の環境につきましては、地区センターの整備計画がまだ策定中の段階ですので、現時点では具体的な内容をお示しできる状況ではありません。詳細がわかり次第、皆様に発信をさせていただきますので、ご理解をいただければと思います。</p>
徳永議長	<p>ありがとうございました。</p>

発 言 者	発 言 内 容
徳永議長	<p>地区センター化に向けて、どんな風が変わるのかという不安もあるかとは思いますが、詳細な情報はまだこれからということです。</p> <p>話が少しそれますが、黒須公民館では今年度、コロナ禍ではありましたが文化祭を開催しました。黒須公民館 50 周年ということもあり、動の部は収録の形で、除菌や消毒を徹底しながら開催しました。結果論にはなりますが、やってよかったと思います。</p> <p>文化祭に向けての会議の席で、あるサークルの方から「やはり公民館がないと生きていく元気が出ない。今日、公民館に集まれて元気が出ました。」という一言がありました。その言葉が文化祭実行委員の励みになりましたし、運営審議会の一員としては、公民館をより良く、皆様により一層利用しやすいようにしてくのが私達の役割だと感じました。トイレの洋式化もその一つで、黒須公民館では2階のトイレを洋式化していただいたところですが、利用者にとってより使いやすいよう、1階トイレの洋式化を要望します。</p>
木村委員	<p>地区センター化というお話がありましたが、藤の台公民館の今後についての情報が入ってこないのが不安を感じています。わかる範囲で教えていただきたいと思います。</p>
事務局	<p>地区センター整備計画は、まだ議論が固まっていない状況でございます。今後、情報が入り次第、皆様にお示しをしていきたいと思っています。</p>
開坂委員	<p>飯能市ではすでに、公民館が行政センターに併設の形になっています。私は飯能市でも公民館活動をしていまして、その中で感じたことを述べさせていただきます。飯能市では、行政センターの使用料について、まちづくり活動の時は全額免除になります。まちづくり活動というのは、市民と市が協働して行う活動です。例えば、私は飯能で川柳を教えています。市民を対象に川柳大会を行っています。それで、川柳会がまちづくりの活動の一環として位置付けられており、使用料は全額免除されています。</p> <p>入間市でも、地区センター化を機会に、そういった形で使用料を見直していただきたいと思います。市民と市が協働して行う事業について、使用料免除をしていただきたいと要望します。</p>
徳永議長	<p>ありがとうございました。</p> <p>次は、「公民館運営審議会委員の任期2年間の活動の振り返りについて」です。各委員さんから一言ずついただきたいと思いますが、最初に私から申し上</p>

発 言 者	発 言 内 容
徳永議長	<p>げます。</p> <p>委員長という大役をいただき不安がありましたが、職員の皆様方の後押しとアドバイス、そして委員の皆様のおかげで、なんとか務めることができました。本当にありがとうございました。</p>
栗原委員	<p>コロナの影響で、扇町屋公民館では運営委員会の会議も開催しておりませんでした。振り返ってみると、少し消極的だったという感じがしております。その中でも、子供の書き初め練習会を開催し、人数も集まり良い事業だったと思います。やはり子供をもっと呼び込める公民館事業ができたらいいなと思い、これからも頑張っていきたいと思います。</p> <p>また、今年度文化祭を実施した公民館では、どんなやり方や工夫で実施したのかを皆様にお聞きしたいと思います。</p>
西澤委員	<p>この運営審議会に参加させていただいて、公民館についてのこれまでの私自身の認知と全く違う、いろいろな勉強ができたことを、本当に感謝しています。社会教育の講演にも行かせていただき、公民館の役割が、地域にとってどれだけ大事なことなのかを認識させていただきました。これからも頑張りたいと思います。</p>
中西委員	<p>公民館の意義や、地域で果たす役割ということについて、改めて考えさせられる機会になりました。今後ますます高齢化が進む中で、長生きすることは良いことですが、心も体も健康で生きていく、そのために公民館の果たす役割が、ますます大きくなっていくのではないかと思います。そのような中で私は、委員の立場に限らず一市民として、少しでもお役に立てればと思います。そのためにはまず、私自身が健康でなければ始まりません。まずは自分自身の健康に気をつけて、そのうえで地域の皆さんのために何かお手伝いできることがあればいいな、とそんなことを夢見ております。</p>
伊與田委員	<p>私は久保稲荷公民館以外の公民館にはほとんど行ったことがなかったのですが、ここで皆さんから他の公民館のお話をいろいろ伺って、視野を広げる良い機会になったと思います。私にお役に立てることがあれば、といつも感じて活動しておりました。</p>
塚原委員	<p>委員として2年間活動してきましたが、この一年間は委員としての活動も少なくなりました。短いですが、これからもよろしく願いいたします。</p>

発 言 者	発 言 内 容
鎌田委員	<p>金子公民館は市の端にあり、とても環境が良いところです。コロナ禍でも、環境が良い分、他の公民館より心理的な負担は少なかったように感じます。</p> <p>公民館事業について、いつの間にか例年通りにできて当たり前のように感じてしまっていたものが、改めてできることへの感謝を強く感じました。人と触れ合うことの大切さも、改めて感じました。いろいろと大変な中ですが、皆さんと一緒にいろいろな工夫をしながら、公民館をPRして盛り上げていけると改めて感じます。</p>
中込委員	<p>各委員さんからご意見が出ているとおり、この一年のコロナ禍は、公民館が果たすべき役割について改めて考える機会だったと思います。高齢化とあわせて、公民館は今後どのような活動をしてどのように役割を果たしていくのかという点にも大きな課題が残っているように思います。</p> <p>コロナ禍で、人との絆や付き合いが通常のようにできなくなっています。それを今後どのように再開していき、皆さんが参加できるような体制をどう作るかということが、とても大きな課題になると思います。そのことを再認識し、いかに取りかかっているかが大事だと思います。</p> <p>様々な活動が全て止まっているような状態から、改めて盛り返していくということが、今後の最大の課題だと考えています。中央公民館にはぜひリーダーシップを発揮していただき、これを大きな目標に掲げて、皆で協力してやってきたいと思います。</p>
北田委員	<p>コロナ禍で公民館でもいろいろなことができなくなり、子供たちにとっても多くの行事がなくなりました。コロナ感染の心配より、様々な行事や活動ができなかったことでの精神面への影響や、集う・集まる機会がなくなったことによる影響がとても大きかったと感じます。</p> <p>感染対策は大切ですが、対策をした上で、できることを考えていくことが、とても重要になってくると感じています。私が携わっているドラマフェスタ in 入間という事業も、昨年度は中止になりました。今後は何とかやってみることを考えていきたいと思っています。</p> <p>公民館の貸出についても、自粛要請という方針により、公民館から自粛を要請する様々な連絡が皆さんにもあったかと思っています。要請という言葉のあいまいさや、各館でのその時の伝え方により、利用者の受け止め方も様々だったように思います。そのことにより、もしかしたらできることも自粛してしまった部分もあったのではないのでしょうか。今後このようなことがあった場合には、もう少し統一した言葉や伝え方を工夫してほしいと感じました。</p>

発 言 者	発 言 内 容
北田委員	<p>今後も、市民のため、子供たちや大人のために、やはりできることを考えていきたいと思っています。</p>
開坂委員	<p>公民館の貸出について、私も地域によって対応に違いがあったように感じました。地域の方からも同様のご意見がありました。市民から見ると、使いたいのに使えないのは残念だというご意見でございます。拡大防止のための市の対応なので、全館でしっかり統一した対応をすることと、市民への情報提供の徹底が重要だと思います。</p> <p>西武公民館では、立派な石碑を入口に立てていただきました。これは公民館で活動する歴史サークルの方が公民館に要望して実現したものです。本当にありがとうございました。</p> <p>コロナの中で、公民館活動も、少し見方やスタイルを変えていく必要があるように感じます。西武公民館でも文化祭が開催できず、代わりに展示会を行いました。館長の判断と文化協会の協力の中、形を変えて活動ができたことを本当にありがたく思いました。今後も視点やスタイルを変えながら、様々な活動をしていきたいと思っています。</p>
木村委員	<p>先ほど中込委員からのお話がありましたように、元へ戻すというのは非常に努力が必要になることだと思います。考え方を変えなくてはならない部分もあるようにも思います。</p> <p>藤の台公民館では、サークル数がかなり減ってきている状況です。それに加え、令和4年度の地区センター化まで残り1年というのが利用者の皆さんの頭にあり、不安を感じております。先ほど事務局から、令和4年度からの公民館のあり方について説明を伺いましたので、それに突き進んでいくしかないのかと考えております。</p>
小山委員	<p>東藤沢公民館は、昨年度文化祭を開催しました。ただし、静の部のみの開催で、動の部は見合わせました。例年の文化祭は2日間ですが、昨年度は作品展示のみを4日間かけて行いました。多くの作品が出品され、1,000人を超える多くの方にお越しいただきました。</p> <p>私は東藤沢体育協会の会長も務めておりますが、体育協会と公民館が協力して行う事業が、例年だと6事業あります。昨年度はその6事業の全てが中止になりました。体育協会単独の行事や会議も、全てが中止になりました。</p> <p>公民館の部屋の利用も夜8時までという制限があり、夕方6時から活動するサークルだと2時間しか時間がない状況です。例えば卓球などのサークルで</p>

発 言 者	発 言 内 容
小山委員	<p>は、体が温まってきた頃に終わりになってしまうようです。早く利用制限が解除されたら助かる、というような声も地域の方から聞かれます。</p> <p>私達が通常の公民館の会議で話し合う場合、自分たちの地域のことしかわかりませんが、この運営審議会では、皆さんから多くのご意見や情報を聞くことができました。お聞きしたご意見や情報を、次の地域の会議に持ち帰って参考にさせていただきます。</p>
木下委員	<p>昨年度を振り返ると、各公民館、各事業とも、最初から中止ありきのような考え方で物事を進めてしまったのではないかと感じる部分があります。確かに中止すれば感染は起こりませんが、何事も中止ではなく、どうしたらできるかのということをもう少し考えてもよかったのではないかと、今振り返ると思います。</p> <p>そうした中で黒須公民館や東藤沢公民館が文化祭を開催したことは、結果論かもしれませんが、大変立派だったと思います。開催しなければ安全という考えもあった中で、賛否両論があることを承知した上で、どうしたらできるのかというその方法を考えてもよかったんじゃないかなというふうに、私自身少し反省しております。今後はその部分をもっと考えていきたい思います。</p>
野崎委員	<p>二本木公民館は、二本木地区と狭山台地区が対象区域になります。特に二本木地区では高齢化が進んでおり、お一人で住んでいらっしゃる方もいます。気にかけてご様子を伺ったりしますが、落ち込んでいる方がとても多く感じます。コロナ禍で外出ができない、公民館活動もない、話し相手がないという中で、夜にお友達と長電話をすることが唯一の楽しみだとおっしゃっています。雑談だけでもいいから話をしたい、という声がよく聞かれます。</p> <p>やはり今まで、公民館が本当に大事な役割を果たしていたのだということを感じました。高齢者にとって、公民館が憩いの場になっていたのだと思います。そのような場が早く再開できることを願います。</p> <p>また、狭山台地区では、新しい住宅が増え若い世代の方が増えています。ただ、残念なことに自治会に入らないご家庭も大変増えています。自治会に加入していないと公民館だよりも配られませんので、公民館がどんなことをしているのかが伝わりません。そのようなこともあり、若い方にもぜひ自治会に加入してほしいと思っています。</p> <p>2年間委員を務める中で、他の公民館の活動の様子もよくわかりましたし、大変勉強になりました。やはりこういう意見交換は本当に大事だと痛感いたしました。</p>

発 言 者	発 言 内 容
徳永議長	<p>皆様、ありがとうございました。</p> <p>私自身も、皆様方から各公民館の様々な様子を伺えて、本当にありがたかったと感じます。野崎委員のお話にもありましたが、高齢化は二本木地区だけの問題ではなく、入間市全体で高齢化が進み、各公民館のサークル数も減少してきています。それを何とかするためには、若い世代の方にもサークル活動に加わっていただくようにすることを考えなければいけないと思っております。</p> <p>他には何かありますでしょうか。</p>
事務局	<p>先ほど栗原委員から、昨年度文化祭を開催した館から情報を伺いたいというご意見がありました。昨年度、文化祭を開催した黒須公民館と東金子公民館からご報告をいただければと思います。</p>
塚原委員	<p>東金子公民館では、動の部は中止にして、静の部の作品展示のみを2日間行いました。</p>
徳永議長	<p>黒須公民館では、静の部は通常通り、動の部は収録の形で行いました。入間ケーブルテレビさんにご協力をお願いしたところ、快諾していただきました。収録には、合唱サークルで出演辞退されたサークルもありましたが、その他はダンスも含めた様々なサークルが出演しました。出演時もマスクを着用し、消毒や除菌を徹底して行いました。黒須公民館は50周年の節目でもあり、公民館と利用者が協力して一生懸命にやりました。昨年は、約4ヶ月間の自粛期間があった中で、各サークルとも練習不足で不安もありましたが、なんとか無事に収録ができました。賛否両論あるかとは思いますが、振り返ってみると、やってよかったと感じます。</p> <p>では、以上で本日の議題は全て終了しましたので、議長の座を下ろさせていただきます。</p> <p>(以上)</p>
<p>議事のでん末・概要を記載し、その相違なきことを証するためここに署名する。</p>	
<p>令和 〆年 〆月 〆日</p> <p>議 長 の 署 名 <u>徳永 美代子</u></p> <p>議長が指名した者の署名 <u>北田 尚美</u></p>	

